

会計様式第 1

支 出 伝 票

会派名	代表者	経理責任者	会計年度	整理番号										
創大会	大澤 敬	増田 修治	令和5年	2										
支 出 項 目	☐ 1 調査研究費 ☐ 6 会 議 費 ☐ 2 研究研修費 ☐ 7 資料作成費 ☒ 3 広 報 費 ☐ 8 資料購入費 ☐ 4 広 聴 費 ☐ 9 人 件 費 ☐ 5 要請・陳情活動費 ☐ 10 事 務 所 費			令和5年7月28日										
支 払 金 額	<table border="1"> <tr> <td>金 額</td><td></td><td></td><td>1</td><td>4</td><td>3</td><td>0</td><td>4</td><td>5</td><td>円</td></tr> </table>				金 額			1	4	3	0	4	5	円
金 額			1	4	3	0	4	5	円					
使 途 内 容	創大会会報 印刷費 30,000部													

《領収書添付欄》

別紙のとおり

領収書



日付: 2023年7月28日
領収書番号: R-230725973075

創犬会 御中



〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

¥143,045-

但し 商品代として
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品概要 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
230725973075-01	(創犬会たより) チラシ・フライヤー,A3,両面カラー,光沢紙(コート),標準: 90kg,折り加工: 2つ折り(センター折り)	30,000部	2023年 7月28日	¥130,041
注文内容:		商品:		¥130,041
注文合計:				¥130,041
消費税:				¥13,004
ご請求合計金額:				¥143,045
お支払い方法:			クレジットカード	

視察研修報告・・・7月3日(月)～4日(火)



創犬会では、7月3日(月)・4日(火)と、先進地視察研修を行いました。初日は、千葉県習志野市の消防本部を訪問。犬山市の消防本部は、建築後50年近くなるため、現在、建替えを検討しています(本年2月議会にて基金設置条例可決)。昨年3月に竣工した習志野市消防本部庁舎は、災害に強いことは勿論、緊急時には出動し易い配慮や女性でも働きやすい環境整備がされており、当市の整備のあたっても参考になる点が多くありました。特に、来庁者用駐車場は隣接する市庁舎と共用となっていました。車止めが設置されておらず、訓練や操法大会、災害時の全面活用を想定して計画されていました。今後も、市民の皆様の安心・安全を守るため、一緒になって考えていきます。

4日(火)は、参議院議員会館の藤川議員事務所を訪問。同所で、スポーツ庁の健康スポーツ課職員から「スポーツを通じた健康増進について」の説明を受けました。現在、成人の週1日以上スポーツ実施率は52.3%。国では、これを70%にする目標で運動・スポーツ習慣化促進事業を進めています。そのため、市町村等が実施するスポーツを通じた健康増進の多様な取組みを支援しているとのこと。犬山市でも、現在様々な健康増進事業を実施していますが、全国的な事例を参考にして、新たな展開と一緒に考えます。市民の皆さんが、楽しく運動・スポーツを習慣的にいき、健康づくりに役立つ取組みを進めていきます。



議長として

柴田 浩行 議員



犬山市議会議長に就任させていただきました。(任期は2年)犬山市の人口は、平成21年の75,864人をピークに減少しています。令和5年6月1日現在の人口は72,290人です。ピーク時から3,574人減少しています。このまま何もしなければ犬山市は衰退するばかりです。

厳しい時代だからこそ、犬山のことは犬山でしっかりと決め、実行していかなければいけません。二元代表制の下、議会は犬山市の意思決定機関としての責務をしっかりと果たしていかなければいけません。

議長として公平で公正な議会運営を行い、是々非々で緊張感を持って市長と向き合う強い議会を目指します。政策の提言・提案の促進に取り組み、チーム犬山市議会として、犬山市の発展に寄与してまいります。

9月定例議会の予定 9月1日(木)再開 7日(木)・8日(金)・11日(月)・12日(火)一般質問
13日(水)・14日(木)議案質疑 19日(火)・20日(水)21日(金)部門委員会 25日(木)最終日

犬山市議会

創犬会だより

発行責任:犬山市議会会派「創犬会」
構成議員:増田修治 光清 毅
小川清美 畑 竜介
玉置幸哉 柴田浩行
大沢秀教
発行年月:令和5年8月



新会派『創犬会』を結成しました

創犬会とは、犬山を市民の皆さんと一緒に創っていくという意味を込めて命名しました。会派のメンバーは、当選5回のベテランから初当選の新人までとなっていますが、それぞれが豊富な経験を活かし、最大会派として市政の発展のため切磋琢磨して取り組んでいきます。メンバーは写真左から、

- | | |
|----------------|--|
| 大沢秀教(おおさわひでのり) | 議会運営委員会委員長、建設経済委員会委員、愛北広域事務組合議会議員 |
| 玉置幸哉(たまおきゆきや) | 建設経済委員会委員長、尾張水害予防組合議員、市議会広報委員会副委員長 |
| 増田修治(ますだしゅうじ) | 民生文教委員会委員、市議会広報委員会委員 |
| 柴田浩行(しばたひろゆき) | 市議会議長 |
| 小川清美(おがわきよみ) | 民生文教委員会副委員長、尾張北部環境組合議会議員 |
| 光清 毅(みつきよつよし) | 総務委員会委員、議会運営委員会委員、尾張北部環境組合議会議員 |
| 畑 竜介(はたりゅうすけ) | 監査委員、市議会広報委員会委員長、総務委員会委員、愛北広域事務組合議会議員、 |

の7人です。よろしくお願いします。

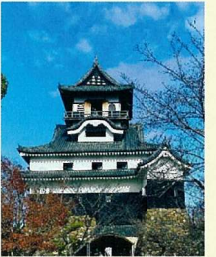
光清 毅 議員

- Q** 投票所への移動支援について様々な方策を検討できませんか。
- A** 高齢化の進捗により、投票所へ行くことが困難な有権者が増えていくので他の自治体での事例等について、時間をかけて精査していきます。
- Q** 災害発生時の生活生活用水の確保のため、災害時協力井戸の登録を進めたらどうでしょうか。
- A** 既存井戸の活用は非常時に有効であるので、今年度に災害時協力井戸の登録を進めます。
- Q** 県道大県神社線楽田駅西側については通勤者の利用の多い、駅前主要道路でもあるので、改良を県に対して要望したらどうでしょうか。
- A** 今後、地権者の意向を踏まえた地元要望があれば、要望していきます。



畑 竜介 議員

- Q** 以前提案した犬山城の優先入場券について、昨年11月に実施した実証実験の結果はどうでしたか。
- A** 概ねお客様からは好評でしたが、混雑の緩和にはつながらなかったこともあり、今年度は新たに開城時間の延長や再入場券の配布を行いました。
- Q** 新しい犬山南小学校の工事進捗について伺います。
- A** 南舎の実施設設計を進める中で、アスベストを含んだ建築資材が確認された為、令和7年3月完成予定が令和7年12月となり9か月延長となる見込みです。児童や地域住民の皆様の安全を最大限配慮し工事を進めます。
- Q** 北舎に出来る地域活用エリアはいつから使えるようになりますか。
- A** 工事の延長に伴い、令和8年1月以降となる見込みです。



小川 清美 議員

～ 五郎丸駅の復活に向けて～

- Q** このエリアにおける市街化区域編入の可能性について伺います。
- A** 規模の妥当性を満足し基盤施設整備が確実な事業計画があれば、可能性があるものと認識していますが、農地として保全すべき区域などは原則として含めることができないとされています。
- Q** ニュータウン西側での地区計画による住宅地開発の可能性を伺います。
- A** 農用地区域を含むことができないこととなっており、現状において市街化調整区域内地区計画を都市計画決定することはできないと考えています。
- Q** 市長にお訊きします。道の駅の方向性の結論を出すにあたっては、「道の駅」単体で考えるのではなく、長期的で大胆な視点に立って、臨んで頂きたいと考えますが、いかがでしょうか。
- A** 民間企業の進出と新しいまちづくりの可能性を探っていますが、万が一、断念しなければならない場合でも、ただ道の駅を作らないというだけではなく、道の駅に依らない新たな橋爪五郎丸地区の新しいまちづくりに向けて検討をしていきます。



増田 修治 議員

- Q** 道路幅員の狭い狭あい道路が未だ多く、安心安全な暮らしを提供する為にも道路後退の補助金を活用して頂きたいですが、利用状況について伺います。
- A** 年間20件の申込枠がありますが、直近5年間で令和3年に1件の利用です。
- Q** 利用件数が少ないのであれば、同予算内で1件当たりの補助額を上げるなどすることで利用件数も増えるのではないと思いますが、検討頂けないでしょうか。
- A** 良好な都市環境の形成の観点からも狭あい道路の解消は進めていくべき施策の一つではありますが、ご指摘の通り1件のみの補助実績でありますので、今後より活用される制度に向け、内容の検討を行っていきます。
- Q** 広報の全戸配布が開始されましたので、活用して未加入の方に町内会加入を促してみたいかがでしょうか。
- A** 町内会は市政運営の面でも大切なパートナーであります。町内会加入者の増加に向け、秋頃に特集ページを組んで参ります。



大沢 秀教 議員

- Q** 運動部活動は従前と同様の体制では維持が困難です。学校によっては存続の危機です。部活動の地域移行をどのように進めますか。
- A** 段階的な地域移行として、まずは休日の部活動から進めます。
- Q** 信頼できる指導者を確保し、地域連携してはどうか。
- A** 9月以降の新チームにおいて、まずは試行することからスタートし、小さな改善を重ねながら地域連携を進めていこうと考えています。
- Q** スポーツコミッションによる新しい事業展開はありますか。
- A** 3×3という3人制バスケットボールの公式戦を誘致しました。プロと市民がスポーツを通じた交流を行う補助事業を創設しました。



玉置 幸哉 議員

- Q** 当市は令和元年から出生数が500人を割っており危機的な少子化だと考えますが犬山市独自で出産祝い金制度の導入を考えてはどうですか。
- A** 少子化は全国的な課題でありその背景には若い世代の経済的な不安定さなど様々な要因が関係します。国においても「出産・子育て応援給付金事業」として妊娠届出時に1人5万円の事業を当市でも行なっています。また、児童手当の見直しも検討されています。市独自の出産祝い金制度を導入している自治体に聞き取りをした所効果がでるまで5年程度要すること、出産の一時的な経済的支援ではなく継続的な負担軽減を考えます。
- 玉置の想い** 若い世代の収入は増えず、婚姻数も年々減っており厳しい状況。加えて出産にも、出産後も様々な出費もかさむことも想像できる。安心して出産、子育てが犬山市でできるように独自施策を導入してほしいと考えます。

